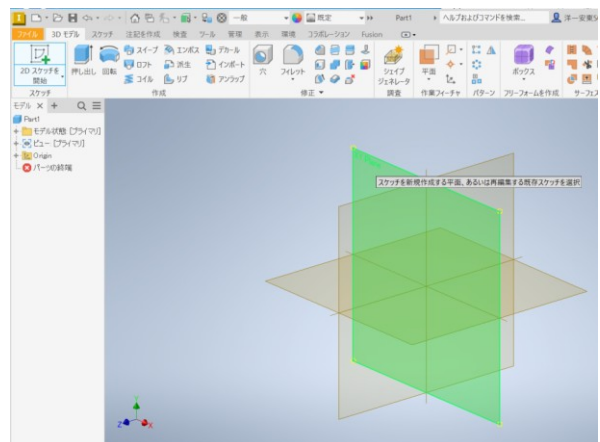
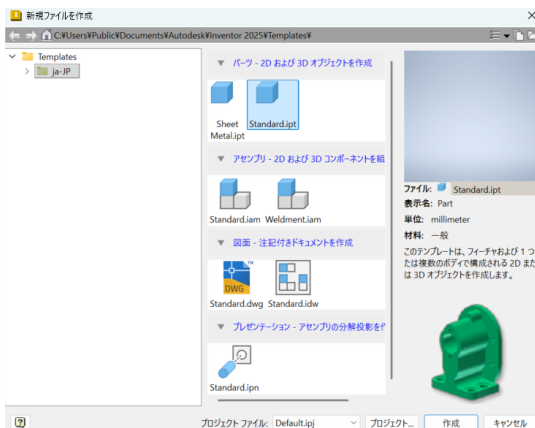


ハブ静翼部モデル

Inventor 2025

No.1

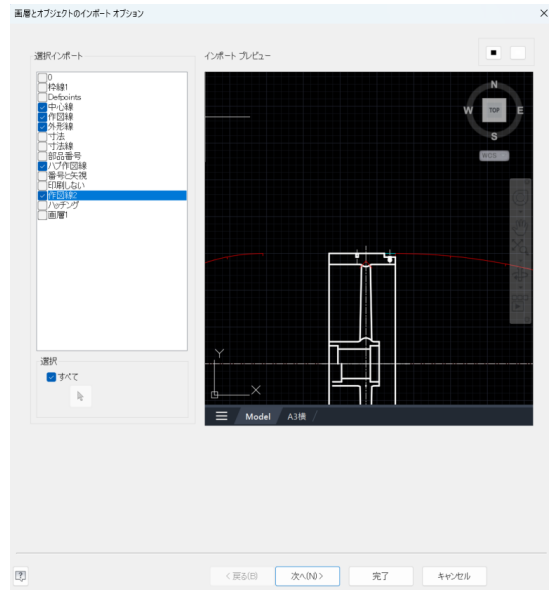
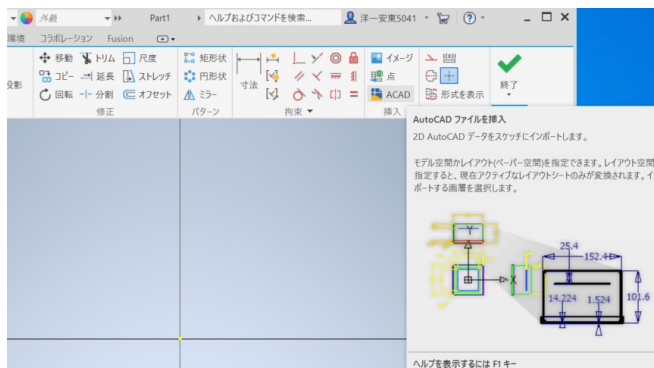
Inventor 新規作成
2Dスケッチを開始
XY Planeを選択（カーソルをXY面に移動し、マウス左ボタンをクリック）



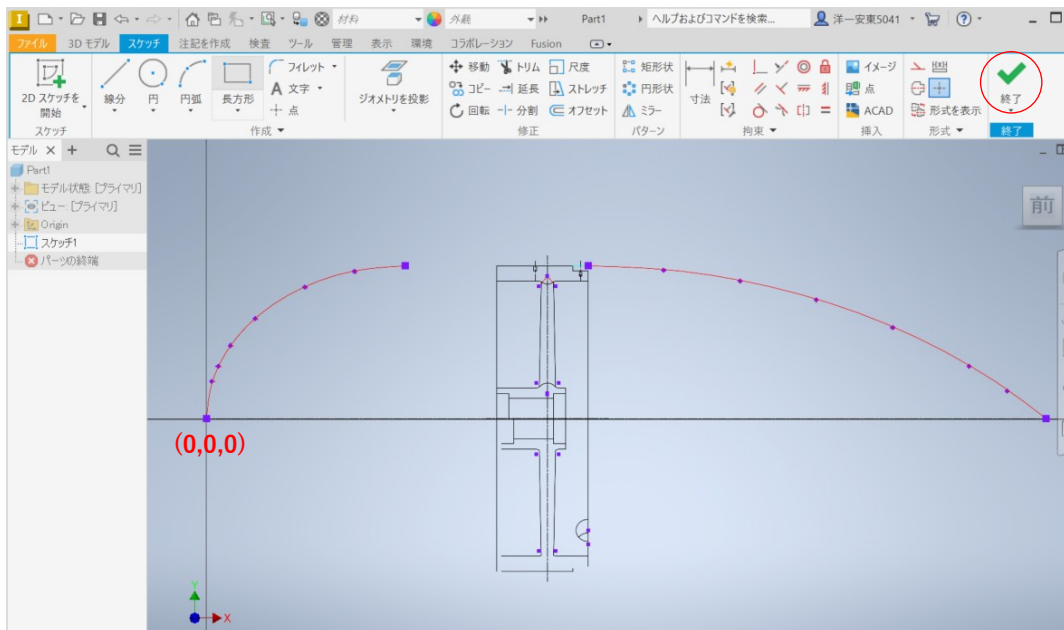
AutoCAD の図面を読み込む

tm000000(寸法決め300-500).dwg

中心線, 作図線, 作図線2, ハブ作図線, 外形線
にチェックを入れ, 「完了」



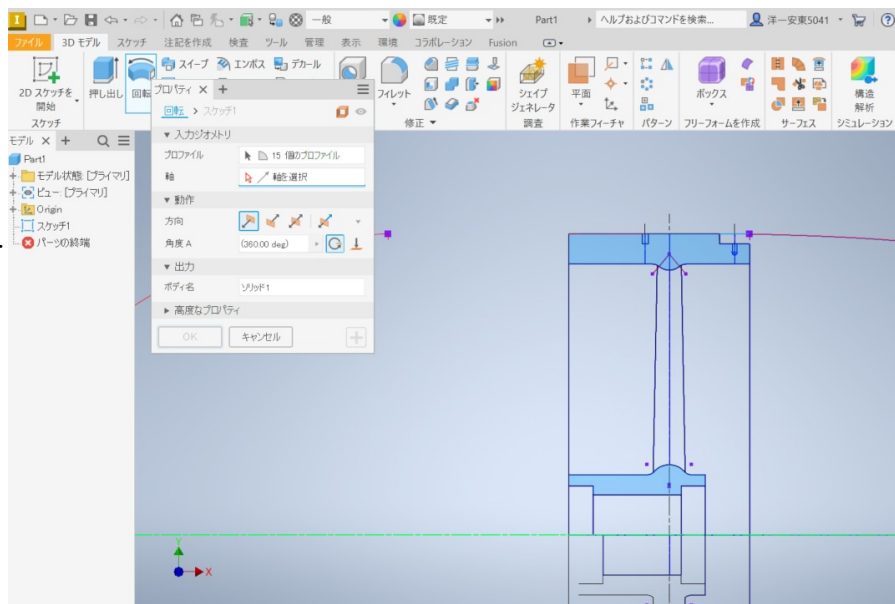
2Dスケッチを終了



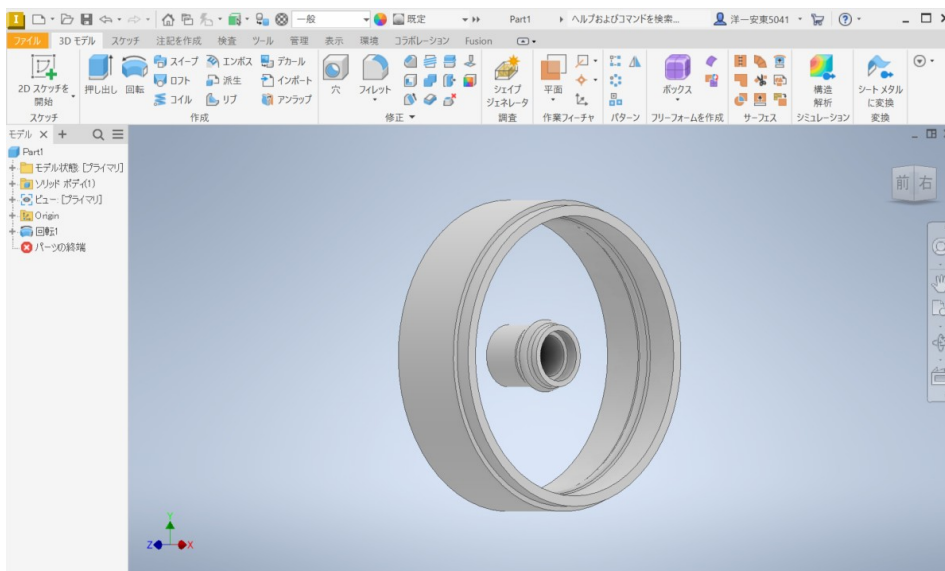
「回転」により
ソリッドを作成する領域を
選択する。

(選択に失敗した場合、
キャンセルしてやり直す)

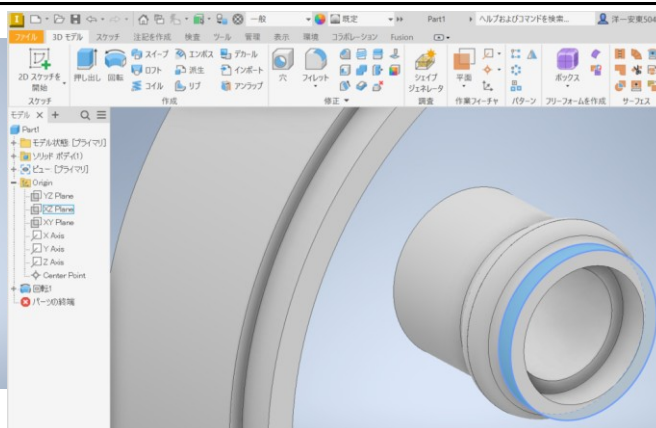
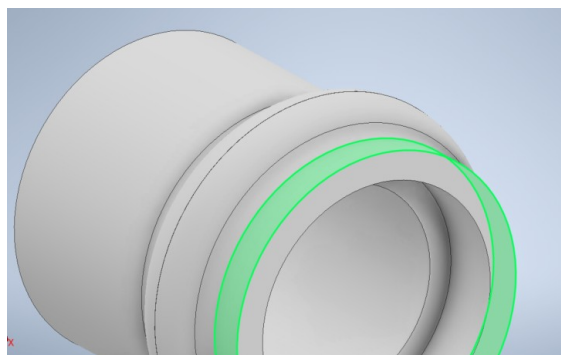
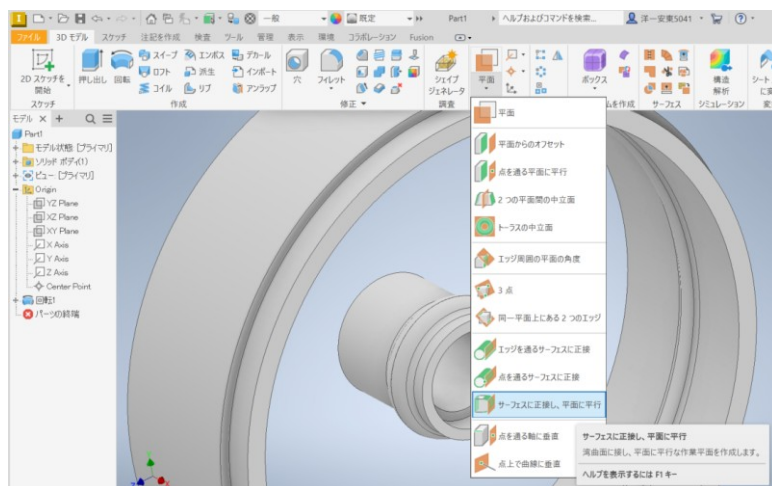
(回転) 軸は X 軸を選択する。



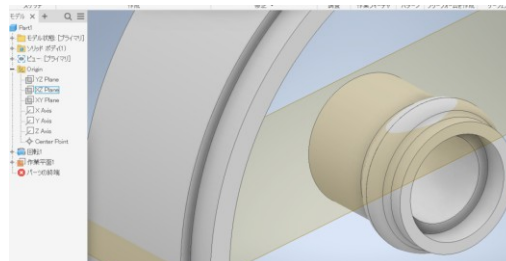
腕は
軸受け部
長直径 30mm
短直径 24mm
の楕円と
ハブ内面
長直径 24mm
短直径 12mm
の楕円に変形する
ソリッド (ロフト) で
作成する。



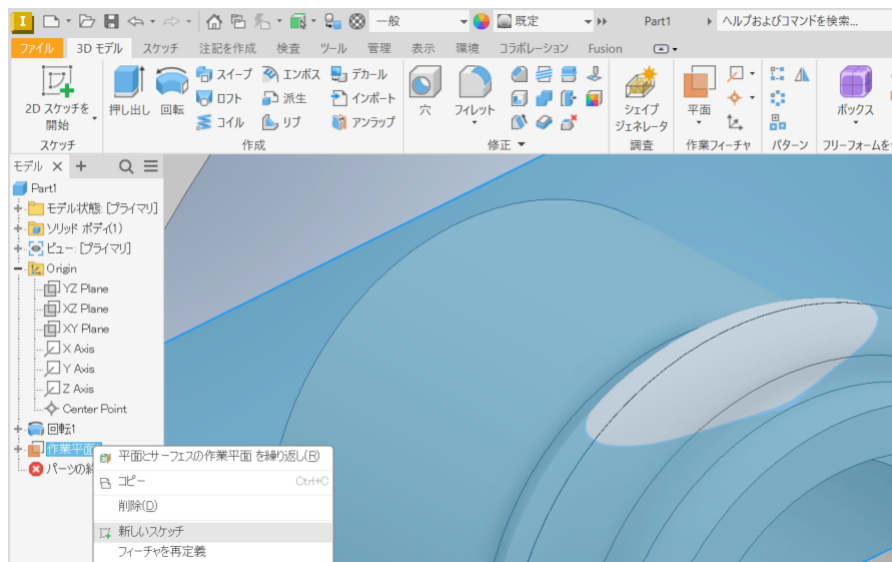
軸受け外周部に
「スケッチ」を作成する。
「平面」→
「サーフェイスに正接し、平面に平行」→



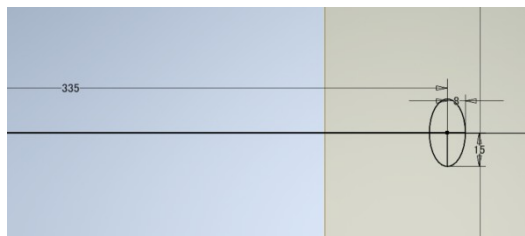
「スケッチ」を作成する。
「平面」→
「サーフェイスに正接し、平面に平行」→
「軸受け外周部（緑の領域）」を選択
（水色に変化）→
Originの「XZ Plane」を選択→
「作業平面」が作成される



作成された「作業平面」を
マウス右ボタンクリックで
目乳が表示される。
「新しいスケッチ」を選択

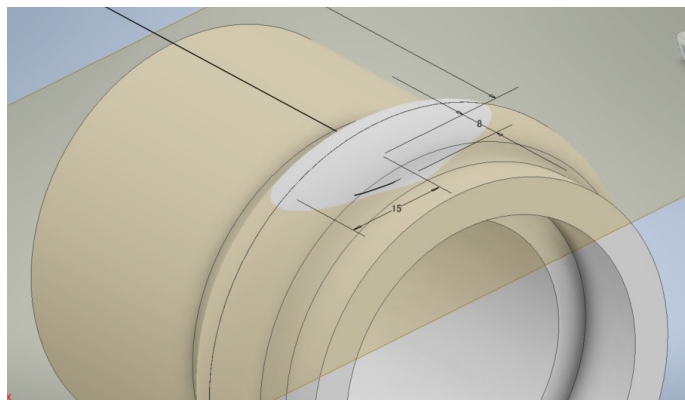


スケッチに
長直径 30mm
短直径 24mm
の楕円を作図する。



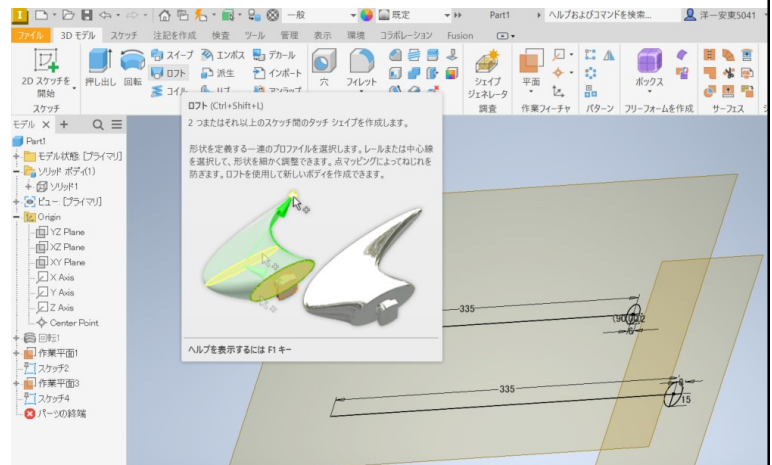
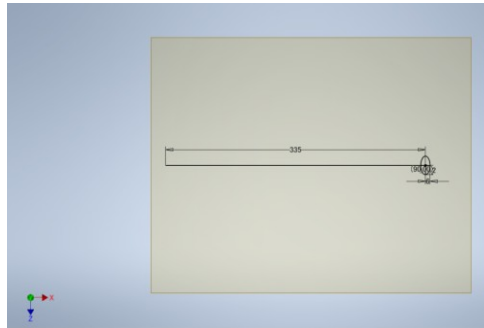
「ソリッドボディ」
「作業平面」
「スケッチ」
はそれぞれ、選択しマウス右ボタンクリック
でメニューが表示される。
「表示設定」のチェックを外せば「不可視」
になる。

これらは必要に応じて不可視、可視を切り替
えながらスケッチ・ソリッド作成を進める。

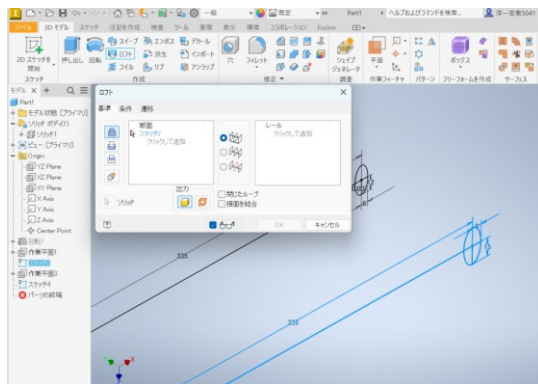


同様に、ハブ内面に「作業平面」を作成し
 長直径 24mm
 短直径 12mm
 の楕円をスケッチする。

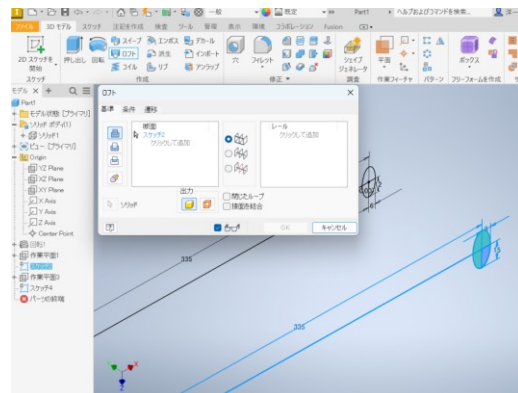
スケッチした2つの楕円を表示する。



ロフトの（下底）断面のスケッチ線を選択

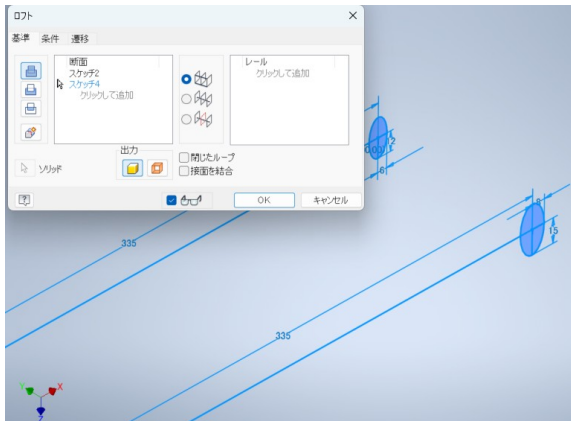


ロフトの（下底）断面形状を選択
 複数の領域に分割されているので、すべてを選択する。

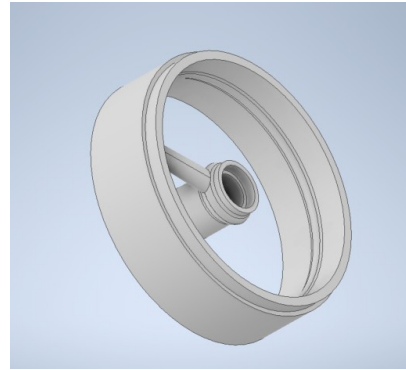


同様に、ロフトの（上底）断面のスケッチ線を選択
 「クリックして追加」をマウス左ボタンでクリック
 ロフトの（上底）断面形状を選択

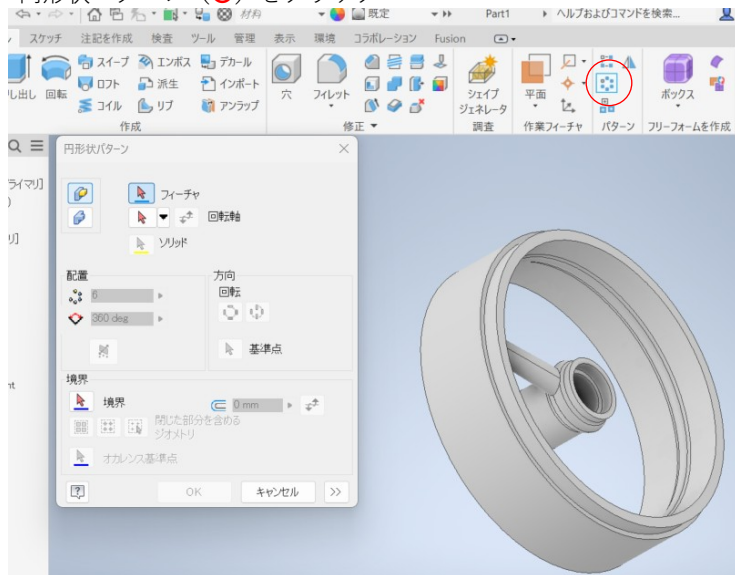
選択後、「ok」をクリック
(作成された「ソリッド」は不可視設定になっている)



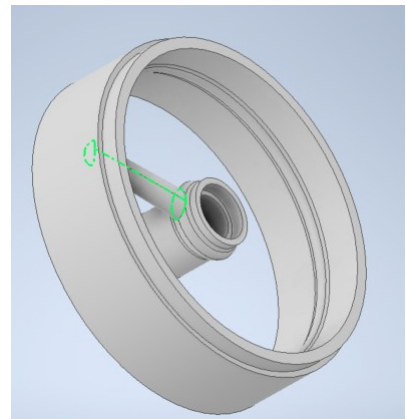
「ソリッドボディ」を表示に変更

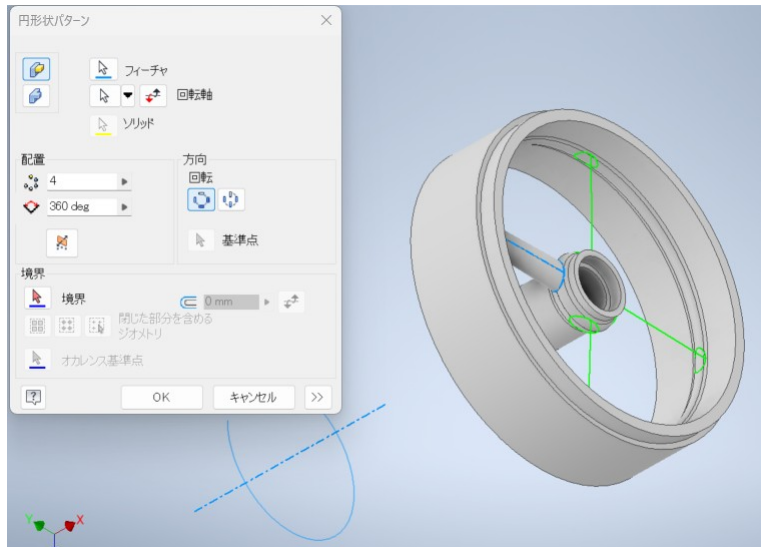
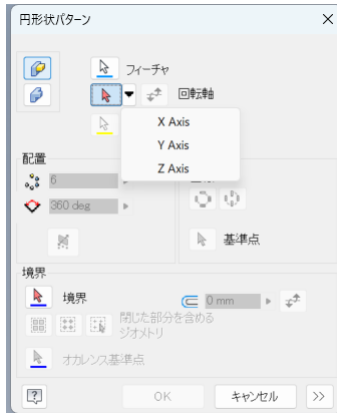


腕をパターン配置
円形状パターン (○) をクリック

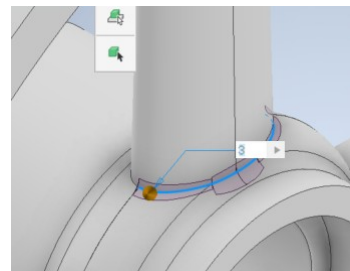
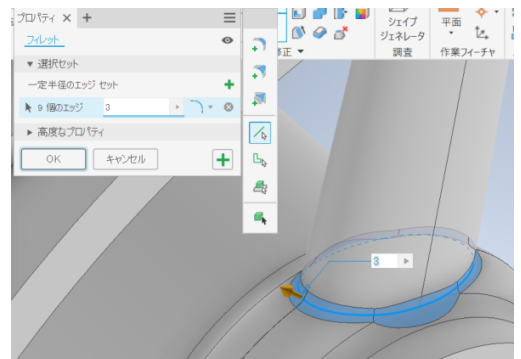
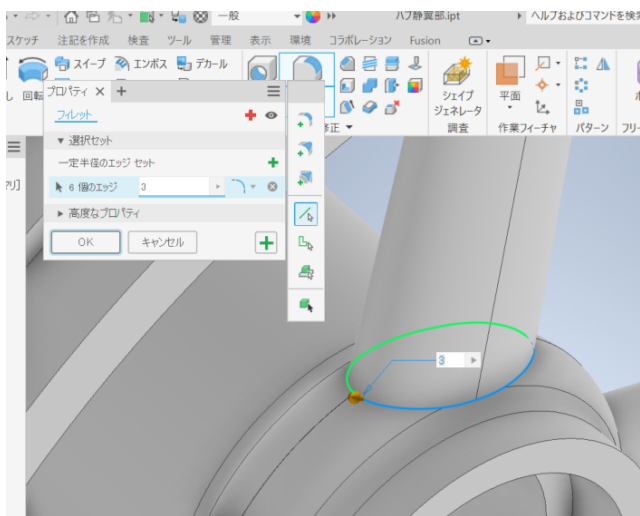


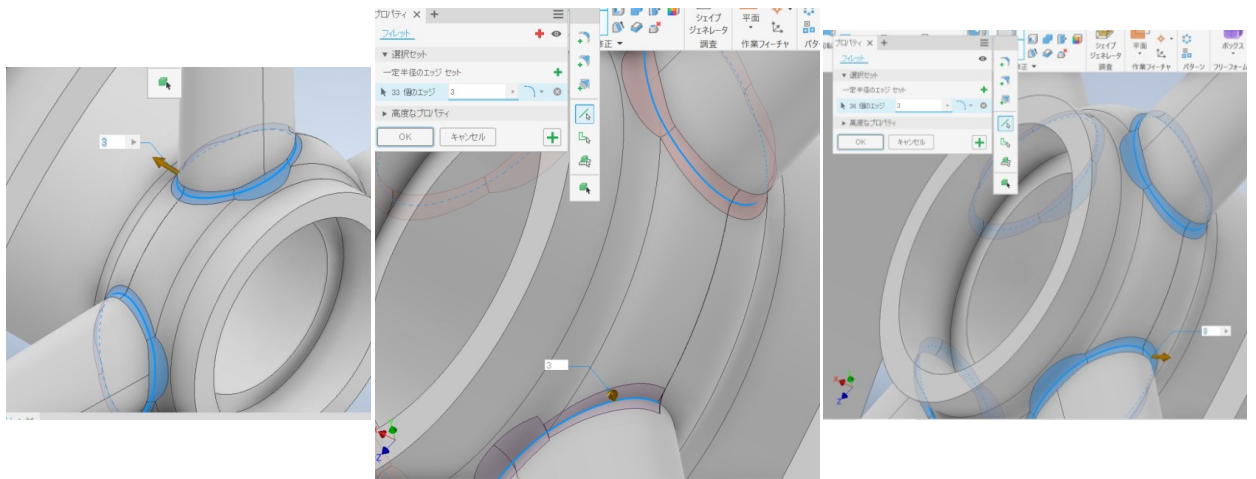
「フィーチャ」で腕を選択



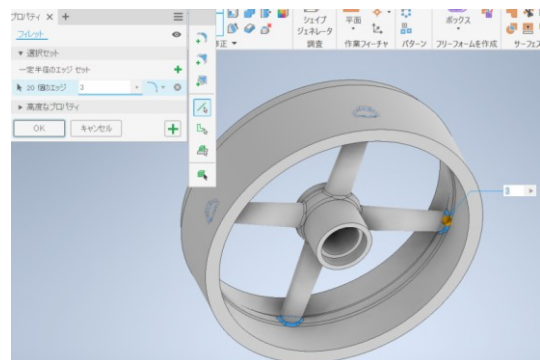
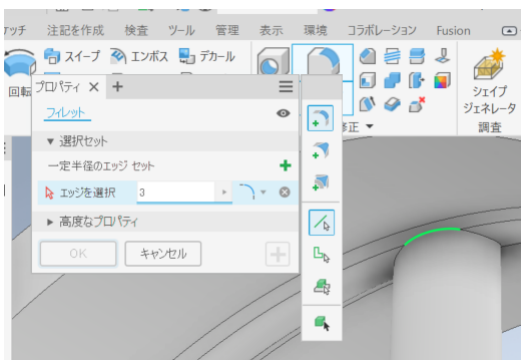


フィレット作成 3mm
 フィレットの作成に失敗する場合は、
 フィレットの選択順序を変える。

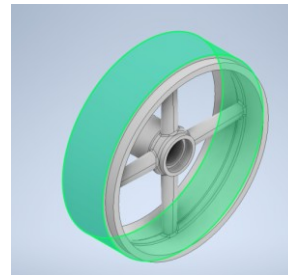
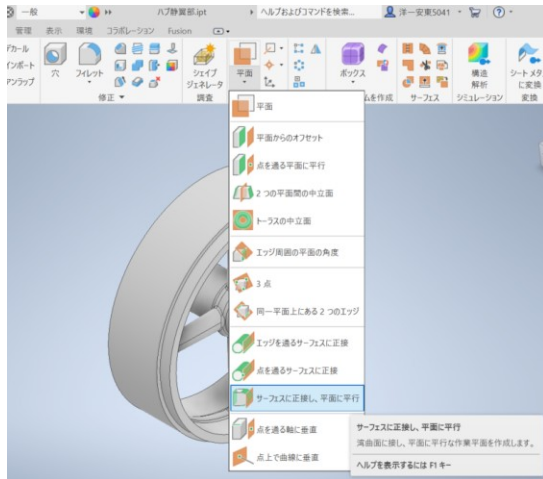




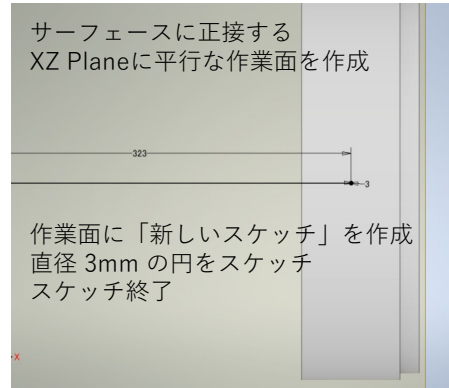
フィレットの短い方から選択すると良い



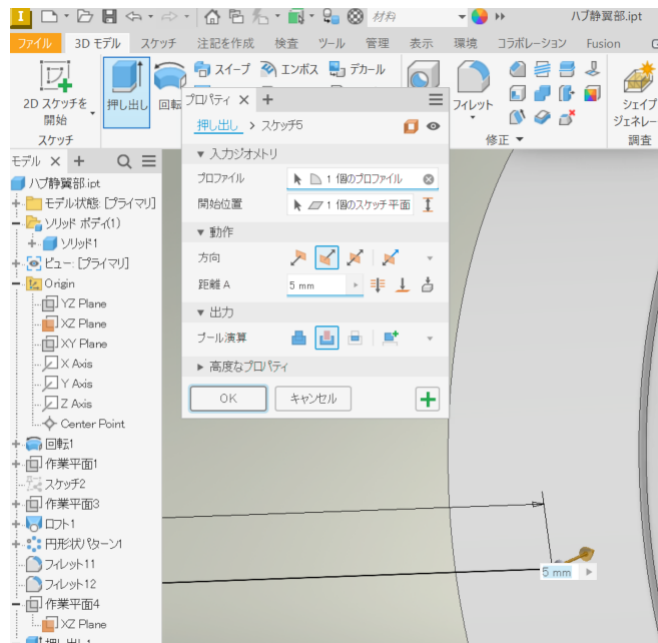
静翼固定ピン穴

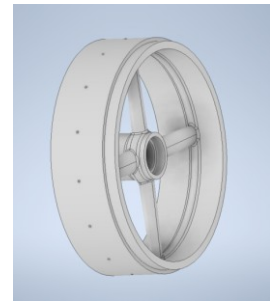
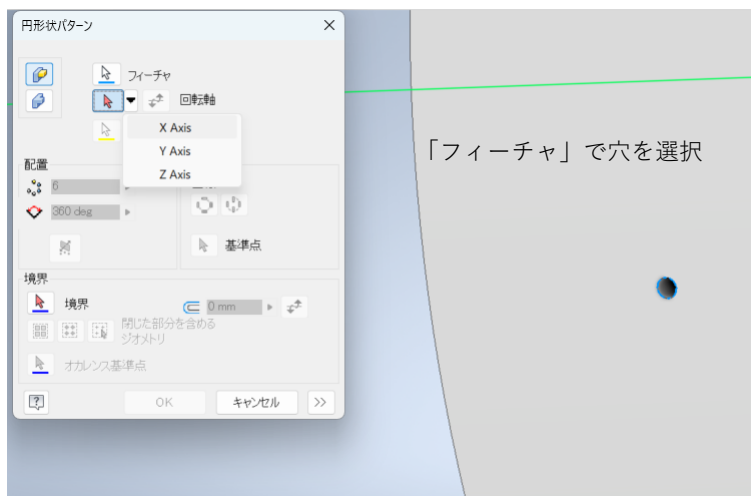


選択された
サーフェース



押し出しで
深さ mm の穴を作成

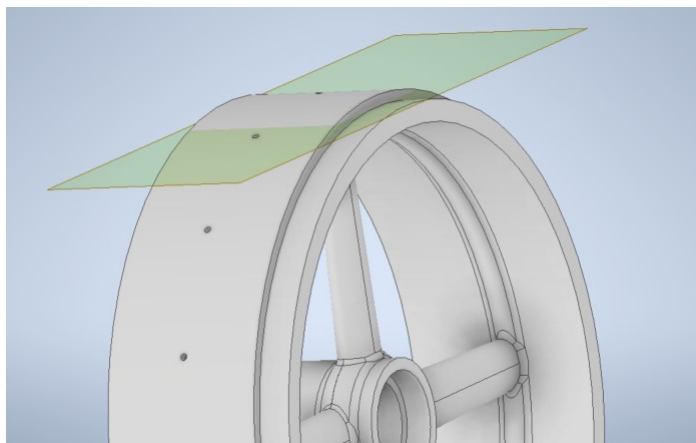




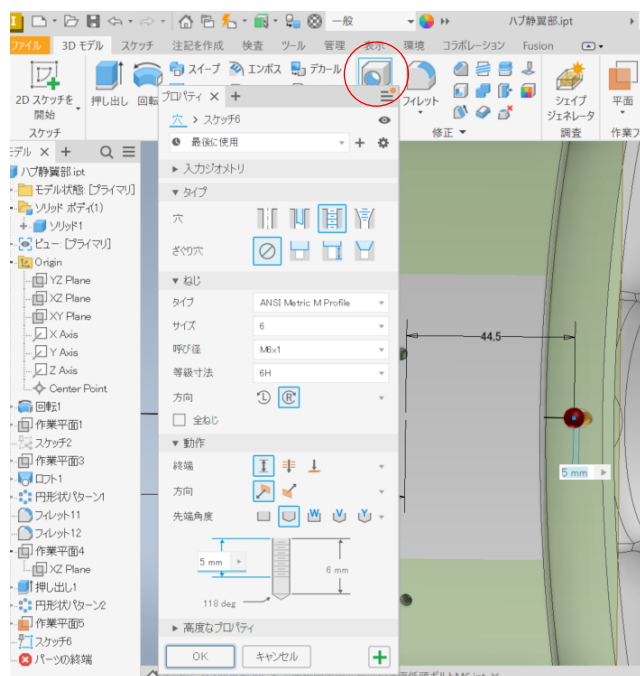
穴をパターン配置
 静翼枚数 (例: 15枚)
 円形状パターンをクリック

ハブ・テール部取付ねじ穴
 (静翼固定ピン穴の手順と同様)

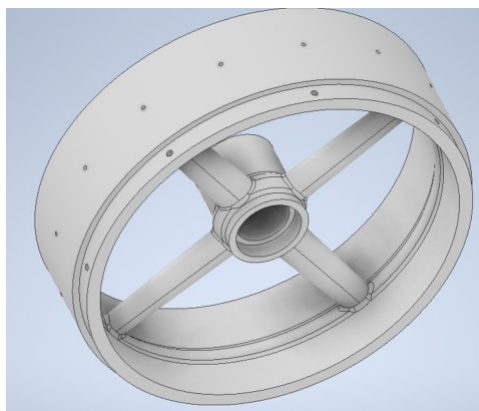
図の位置に「作業面」を作成
 「作業面」に「新しいスケッチ」



ねじ穴位置をスケッチする。
 穴を選択し、
 パラメータを入力する。
 タイプ：ANSI Metric Plofile
 呼び径：M6×1
 ねじ部深さ：5 mm
 下穴深さ：6 mm

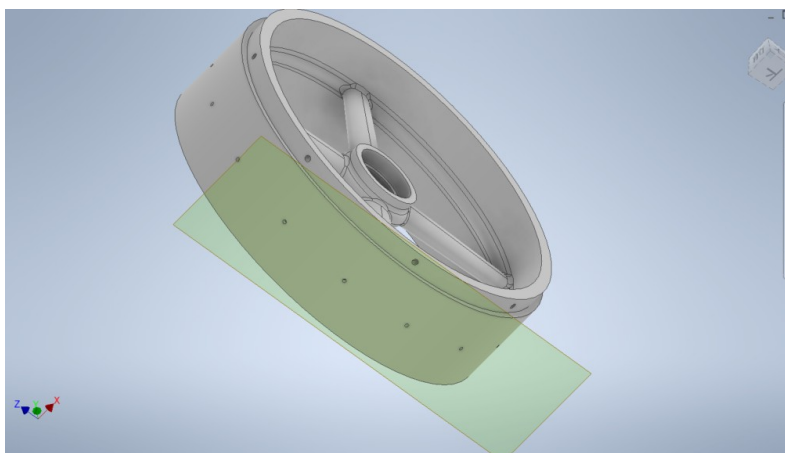


ねじ穴を8か所にパターン配置
 円形状パターンをクリック



Vベルト貫通穴

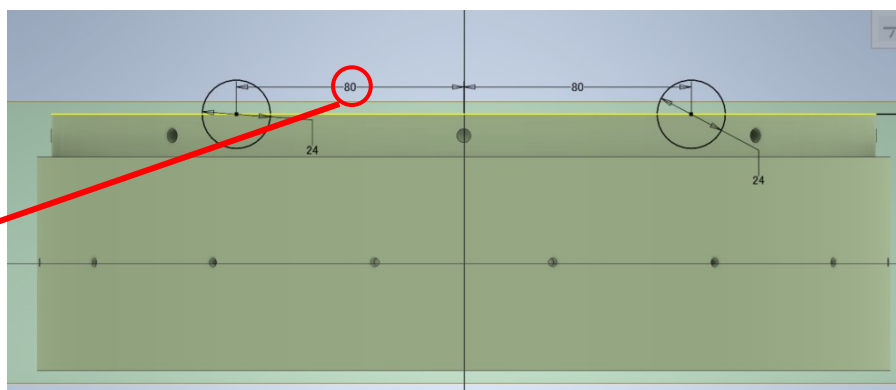
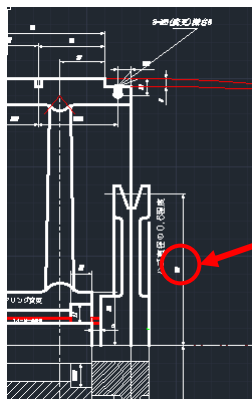
ハブ外周面のフェースに正接する
XZ Plane に平行な「作業平面」を
作成する。



Vベルト貫通穴をスケッチし、スケッチを「終了」する。

（「見本ケーシング中部.dwg」を参考）

Vpの呼び径は 160mm（設計手順 [57]）以上、Vpはハブに収まる適当なサイズを選ぶ。



ハブを貫通する長さの
(赤色)円柱で
「切り取り」を実行する。

